

第8回日韓沿岸技術研究 ワークショップ



一般財団法人 沿岸技術研究センター
研究主幹 水口 幸司

韓国海洋科学技術院（KIOST）、国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所（PARI）、一般財団法人みなと総合研究財団（WAVE）および一般財団法人沿岸技術研究センター（CDIT）の4者は、沿岸技術研究における相互交流を図るための日韓沿岸技術研究ワークショップを毎年開催しており、今回で8回目を迎えます。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度及び3年度は開催されませんでしたが、本年度は12月21日（水）に3年ぶりにウェブにて開催しました。

ワークショップでは、PARIの河合弘泰所長、KIOSTの李胤浩副院長からの開会挨拶の後、日韓合わせて7件の研究発表（別表）が行われ、CDITの宮崎祥一理事長の開会挨拶で幕を閉じました。100名近くご参加いただいた日韓の港湾関係者は、各発表に大変関心を持って聴講されていた様子で、予定時間を超過するほどの活発な質疑応答も行われました。また、休憩時間には、急遽日韓お互いに自己紹介・挨拶を行う時間が設けられるなど、モニター越しではありましたが、3年ぶりの再会を喜んでいました。

次回第9回については、KIOSTの安熙道顧問から開催方針の

説明があり、来年度韓国にて開催されることとなりました。来年度はKIOSTの前身であるKORDI（韓国海洋研究院）設立50周年、CDIT設立40周年の年でもありますので、対面での開催に向けて、更に盛り上がっていくものと期待しております。

おわりに、今回ご参加いただいた日韓の関係者、発表者の皆様に厚く御礼を申し上げます。



KIOST 李胤浩副院長（左：開会挨拶） 安熙道顧問（右）



PARI 河合弘泰所長（開会挨拶）



CDIT 宮崎理事長（右側中央：閉会挨拶）

研究発表 プログラム

	テーマ	発表者
①	日中韓の統合指標を用いた港湾の環境等級の評価	PARI 海洋汚染防除研究グループ長 井上徹教
②	沿岸域での魚類相調査における環境DNAの適用性について	WAVE 主任研究員 渡辺健太郎
③	デジタル沿岸管理シミュレーションと海洋スマートシティプラットフォームの開発	KIOST 責任研究員 林鶴洙
④	洋上風力発電施設の基礎の洗掘防止工に関する研究	CDIT 研究主幹 福永勇介
⑤	港湾の防災・利用上の検討に活用できるビジネスモデルの拡張機能の紹介	PARI 波浪研究グループ長 平山克也
⑥	沿岸災害管理のためのデジタルツイン構築の方向	KIOST 前任研究員 金大善
⑦	高潮に関する防災・減災の取り組み	CDIT 主任研究員 原信彦